

臨床薬理学

共通科目



4.主要薬物の安全管理と処方理論と演習 演習

宮崎大学医学部附属病院 薬剤部部长

池田 龍二 氏



Faculty of Medicine, University of Miyazaki Hospital

演習「主要薬物の安全管理と処方演習」

宮崎大学医学部附属病院 薬剤部
平原 康寿、池田 龍二



Faculty of Medicine, University of Miyazaki Hospital

演習① 有害事象

症例 ①

68歳・男性

- 外科で手術目的のため入院
- 周術期抗菌薬として院内パスより「セファメジンα」がオーダーされた
- 調剤した薬剤師より、薬歴より「セファゾリンナトリウム」にアレルギー歴があることが分かり疑義照会した

問題点

- ・アレルギー歴への対応
- ・処方時の確認
- ・実施時の確認
- ・薬剤アレルギーについて



Faculty of Medicine, University of Miyazaki Hospital

演習② 休薬

症例 ②

57歳・女性

- 外科で手術目的のため入院
- 狭心症の血栓・塞栓形成の抑制のため、他院内科より「アスピリン錠100mg」を服用していた。
- 入院時のカルテより、「7日間休薬指示あり。明日予定通りオベとする」と記載があった。
- 薬剤師による入院時面談において、休薬していないことが判明。主治医へ伝え、オベは延期となった。

問題点

- ・休薬が必要な薬剤の把握
- ・入院前の確認
- ・入院時の確認



Faculty of Medicine, University of Miyazaki Hospital

演習③ 医療器具（デバイス）

症例 ③

70歳・男性

- 交通外傷による骨盤骨折のため入院
- 喘息発作の既往があり、院内で吸入薬がオーダーされた。
〔フルチカゾン+ウメクリジニウム+ビランテロール〕
- NSは日頃も使っていると思い、「1日1回使ってください」とだけ伝えた。
- 翌日、吸入薬の残量を確認したところ大幅に減っていた。
- 患者は、いつも通り「きつい時」に数回（5回程度）使ったと回答した。
- バイタル測定より、軽度の頻脈がみられ経過観察となった

問題点

- ・吸入薬の分類
- ・吸入薬の指導
- ・薬剤師不在時の対応